

編集 老上学区地域協働合校推進委員会  
発行 老上学区まちづくり協議会  
(老上まちづくりセンター内)

〒525-0055 草津市野路町 520 番地

TEL・FAX 077-564-1430

E-mail oikami@machikyou.jp



# ゆうごう

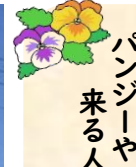
( 融 合 )

## 手をつなぎ 心通わす 誘・融 (とけ合う) 老上

令和2年度はコロナ禍によって協働合校の事業内容が制限されて思うようにできませんでした。このような中でもできる範囲内で工夫しながら行いました。これからもコロナ禍の中でも子ども達のために創意工夫していきたいと思ひます。

老上学区地域協働合校推進委員会 会長 熊川 勉

今年度初のわんぱくプラザ老上「お楽しみウォークラリー」11/14



パンジーや  
来る人々の 頬ゆるむ

コロナ禍で  
大人七人 だけで植え  
今度こそ  
言われるまえにこちらから

おはようさん  
行つてらっしゃい 元気よく

☆夢街道「あいさつ運動」の推進

(畑 實)



### ＊令和2年度 老上学区地域協働合校推進事業報告＊

#### 老上学区まちづくり協議会



#### ☆わんぱくプラザ老上

書き初め大会。草川先生のパフォーマンスは「勇」。小学生2人が願いを書き込み、その後各自が全集中!先生の言葉が心に浸み力が湧きます。素晴らしい表現がいっぱい。おいかめちゃんの紙芝居披露、表彰式、炭治郎のじゃんけんゲーム、凧あげと楽しい新春のひと時になりました。(山口 由紀子)

#### ☆ふれあい農業合校 祝 文部科学大臣賞 受賞

この度、農業合校の活動が「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣賞をいただきました。21年間続けてこられたのも、老上という地域のみなさまの協力のおかげで、感謝、感謝であります。

学校が週5日制になったとき、地域の子どもと大人の関わりを何としても作りたいたいという地域のみなさんの総意で老上ふれあい農業合校がスタートしました。当時、高齢化社会と言われはじめ、大人も生きがいを求めています。また、放置田が増え、日本の農業の衰退をくいとめたい、さらには子どもたちが健やかに育つための食育を精通していきたいという思いがありました。かつて地域の小学校は地域と一体であったように、子どもと大人の三世代が繋がった活動ができるのが農業合校。アカデミックな学校ではなく、一緒に汗をかき共に働くというところで合校と名前を付けています。

今年度、子どもたちとのふれあいは、減りましたが、米・野菜作りは継続。その産物の販売である老上ふれあい朝市は、5月からセルフレジで開催しています。これからも農業合校は、子どもたちと共にふれあい、つながりを大切に、ふるさと老上を愛する心を育てていきます。あなたも仲間になりませんか。(小寺 一久)



農業合校は  
わんぱくプラザと共に



2020年秋 合校生も一緒に稲刈り



## 老上こども園

みんな友だち仲間だよ 元気に遊ぼう 老上っ子



土の中から出てきたよ。  
大きなサツマイモ

今年度は残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、様々な行事が中止になってしまいましたが、農業合校の皆さんには今年もサツマイモの栽培、収穫で大変お世話になりました。10月のサツマイモ掘りでは、5歳児33名が貴重な体験をさせていただくことができました。大きなサツマイモや長いサツマイモなど一緒に畑の中から掘り起こし大変うれしそうな子ども達の歓声が聞こえてきました。自分たちで掘ったサツマイモは各家庭に持ち帰り、美味しくいただきました。季節感を味わうこのような直接体験は園や家庭だけでは、なかなかできません。五感を通して様々なことを学ぶ機会をいただき、ありがとうございました。

## 老上小学校

手をつなぎ 心通わす <sup>ゆう</sup> 誘・<sup>ゆう</sup> 融（とけ合う）老上

### ○米や野菜の栽培・収穫

「老上ふれあい農業合校」と学校が連携・協働して、子どもたちの農業体験・自然体験を行いました。子どもたちは米や野菜を作る楽しさ、収穫の喜びを知ることができ、毎年楽しみにしています。



2年 ジャがいも掘り

また、地域住民と協働する姿から、農業の大切さを学ぶだけでなく、世代間の交流も図られています。学習の成果や感謝の気持ちを表現する場を通して、学習のみの関わりにとどめず、地域に戻った時にも声をかけあえる関係ができています。



5年 稲刈り

滋賀県の学校を核とした地域力強化プラン事業成果報告会で老上小学校と老上ふれあい農業合校が発表。その様子が滋賀県学習情報提供システム「におねっと」オンデマンドで配信中（～3/18）

2021. 1. 22

## 老上中学校

ともに高め・輝かそう自分のよさ、老中のよさ、地域のよさ

### ○学校だより「考動」

学年通信の発行

### ○競書会

1年生9月、2年生10月、

3年生7月

草川薫人先生をお招きして、秋の展覧会に向けた書写作品づくりに臨みました。画仙紙に自分で選んだ字句を書いて最高の作品を雲龍紙に貼って仕上げました。この競書会を通して、「書」の奥深さも感じて興味や関心を深めることができました。また「作品づくりで大切なことは、1字目で失敗したと思っても最後まで諦めないことだ。最後まで心を込めた線は魅力的だし、その人の個性が出る。」という草川先生の格言は、「書」だけでなく様々な制作にも通じることであり、子どもたちの視野が広がりました。



作品づくりのポイントを聞く



競書会

この競書会を通して、「書」の奥深さも感じて興味や関心を深めることができました。また「作品づくりで大切なことは、1字目で失敗したと思っても最後まで諦めないことだ。最後まで心を込めた線は魅力的だし、その人の個性が出る。」という草川先生の格言は、「書」だけでなく様々な制作にも通じることであり、子どもたちの視野が広がりました。